

# 石川県地域産業クラスター計画案について

令和8年9月2日（水）

第2回石川県地域産業クラスター推進会議

# 国の「地域未来戦略」について



➤ 7/21に、国は「地域未来戦略」を閣議決定。**国、県、市町がそれぞれ計画を作成し、強い地域経済の実現を構築**

- 【国の考え方】**
- 地方に大規模な投資を呼び込み、各地に産業クラスターを戦略的に形成
  - 地方の多様で魅力ある地域資源を活用し、地域の産業、地域経済の持続的な成長を図る

|      | 戦略産業クラスター計画<br>(国：A計画)                                                        | 地域産業クラスター計画<br>(県：B計画)                                                                     | 地場産業成長プラン<br>(県、市町：C計画)                                    |
|------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 目的   | 17の戦略分野に関連する企業の大規模投資を呼び込み、産業クラスターを形成<br>企業誘致など大規模な設備投資                        | 外貨獲得や国内市場上位シェアを目指して育成する重点分野を特定し投資を促進<br>県内企業を中心とした地域全体の産業強化                                | 地域資源を活用し、付加価値の創出・域外需要の獲得等により、地場産業成長を目指す<br>地域に根ざした多様な産業の振興 |
| 分野   | 【北陸三県】 ※全国10地域ごとに作成<br>「AI・半導体」<br>「部素材・サーキュラーエコノミー」                          | 【石川県】 ※A計画との重複可<br>「AI・半導体」<br>「防災・国土強靱化」「航空宇宙・部素材」<br>「食文化・観光」                            | 【石川県】 ※A・B計画との重複可<br>県：作成予定なし<br>市町：一部市町が作成を検討             |
| 支援内容 | ✓ 拠点企業への設備投資<br>✓ 公共インフラ整備（道路、工業用水など）<br>✓ サプライチェーン構成企業への設備投資<br>✓ 人材確保・育成 など | ✓ 企業への設備投資、研究開発<br>✓ 道路、港湾等のインフラ整備<br>✓ 人材確保・育成 など<br>＜地域未来基金費＞（本県約60億円）、＜地域未来交付金＞（補助率1/2） | （B計画と概ね同じ）                                                 |
| 他    | 案件確定後、地域ごとに策定                                                                 | 6県が策定・公表（7月末時点）                                                                            | 4県・市が策定・公表（7月末時点）                                          |

# 石川県地域産業クラスター計画の重点分野



- 5/26に産学官金からなる「石川県地域産業クラスター推進会議」を開催し、本県の強みである**ものづくり技術や多様な地域資源を最大限に活かせる、4つの分野を重点分野**として位置付け
- 重点分野ごとに**ワーキンググループ**を設置・検討するとともに、**関連企業へのヒアリング**も実施し**計画案を取りまとめ**

## 主な強み

- **高度なものづくり技術が蓄積**（工作・建設機械、電子部品、繊維関連など）
- **研究機関が集積**（金沢大学、金沢工大、JAIST、2つの高等専門学校など、特に技術系）

- **多様な地域資源**  
（加賀料理・伝統工芸・酒・温泉など）

- **半導体関連産業が集積**  
（パワー半導体やその製造装置等）

- **復旧・復興で培った防災・土木技術が蓄積**

- **繊維素材、航空機の関連産業が集積**

- **全国有数の観光地や食材のブランド力の高さ**

## AI・半導体関連

### 該当業種

- ✓ 生産用機械・機器製造
- ✓ 電子部品・デバイス など

## 防災・国土強靱化

### 該当業種

- ✓ 建設・輸送機器製造
- ✓ 情報通信関連 など

## 航空宇宙・部素材

### 該当業種

- ✓ 金属加工
- ✓ 繊維・化学 など

## 食文化・観光

### 該当業種

- ✓ 食品製造、一次産業
- ✓ 宿泊、伝統工芸 など

## 分野横断的対応

- イノベーションの原動力となる**スタートアップ**の創出・誘致と育成
- 人手不足を補完する**AXの促進**、成長分野に挑戦する**人材確保・育成**
- 企業誘致等による**産業集積に向けた基盤づくり**

## 重点分野

# 重点分野の現状整理

## AI・半導体関連

### ◀ 背景・ニーズ ▶

- 人手不足や省人化ニーズを背景に、**AIや自動化技術の導入が加速化**
- AIの社会実装の拡大により、**半導体需要が拡大**

### ◀ 産業の特徴 ▶

- 生産機械メーカーが集積**フィジカルAIを実装する産業基盤**を有する
- パワー半導体を中心に、**半導体メーカー、製造装置メーカ、部素材メーカー**が集積

## 防災・国土強靱化

### ◀ 背景・ニーズ ▶

- 人口減少やインフラ老朽化を背景に、**省人化・遠隔操作・自動化技術**の需要が拡大
- **防災DXやインフラ維持管理技術**の需要が拡大

### ◀ 産業の特徴 ▶

- **研究機関、製造業、建設業、IT企業等が連携し、研究開発から事業化までを一体的に進める基盤**を有する

## 航空宇宙・部素材

### ◀ 背景・ニーズ ▶

- **次世代空モビリティ市場**の需要が拡大
- 高機能化や環境負荷低減を背景に、**先進マテリアルへの需要が拡大**

### ◀ 産業の特徴 ▶

- **航空機産業で培った高度な加工技術**が蓄積
- **テキスタイル技術や炭素繊維複合材料技術**などの研究開発基盤を有する

## 食文化・観光

### ◀ 背景・ニーズ ▶

- **インバウンド市場や高付加価値旅行市場**が拡大
- 地域固有の**文化・自然・食**などを活かした**体験型観光**に対する需要が拡大

### ◀ 産業の特徴 ▶

- 金沢に加え、能登・加賀・白山が**独自の魅力**を有し、**成長余地**がある
- **高付加価値市場に適した本物の魅力**を有し、付加価値向上の余地がある

▶▶▶ こうした現状を踏まえ、各分野の目指す姿や政策手段を具体化

# 重点分野の計画案の概要

目指す姿

政策手段(案)

| AI・半導体関連                                                                                                                                                                      | 防災・国土強靱化                                                                                                                                                                                    | 航空宇宙・部素材                                                                                                                                                                            | 食文化・観光                                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>■ 製品と生産現場両面での<b>フィジカルAIの実装</b>による<b>ものづくり力の深化</b></li><li>■ 半導体製造の<b>後工程や周辺装置・部品</b>に関する<b>NEXTニッチトップ</b>の創出<br/>など</li></ul>           | <ul style="list-style-type: none"><li>■ AIやデジタル技術を活用した<b>次世代型インフラ関連産業</b>の確立</li><li>■ 復旧・復興のノウハウや知見を活かした<b>新たな防災DXサービス</b>等の創出<br/>など</li></ul>                                            | <ul style="list-style-type: none"><li>■ ドローンやeVTOLなどの<b>次世代空モビリティ関連の一貫供給体制</b>の構築</li><li>■ 複合材料や循環型素材等、<b>先進的マテリアルの産業化</b><br/>など</li></ul>                                        | <ul style="list-style-type: none"><li>■ <b>食文化</b>を活かした石川ならではの<b>体験価値の創出</b>「コンテンツ化」</li><li>■ <b>歴史・文化・自然</b>を活かした<b>エリアブランドの向上</b>「コンテンツの面的展開」<br/>など</li></ul>               |
| <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>フィジカルAIの産学官共創</b>等の拠点開設や導入支援</li><li>● <b>光電融合による通信環境整備</b>と参入促進</li><li>● <b>産学官連携</b>によるAI・半導体分野の<b>人材育成・供給</b><br/>など</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>ICT施工</b>の中小建設企業への展開</li><li>● <b>認定制度等による建設新技術</b>の活用促進</li><li>● <b>公共事業での新技術・DX</b>の活用フィールドの提供、<b>無人化施工</b>による<b>試行工事</b>の実施<br/>など</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● メーカーとの<b>大型軽量化機体の共同開発</b>の促進</li><li>● 空モビリティの<b>社会実装</b>に向けた<b>実証フィールド整備</b></li><li>● 先進的マテリアルの<b>市場規制対応</b>や<b>需要開拓</b><br/>など</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 食のブランド化や<b>オーベルジュ</b>等の面的な整備促進</li><li>● もてなし等への注力に向けた<b>定型業務のDX活用</b></li><li>● 食・工芸・もてなし等を支える<b>技の継承</b>と<b>人づくり</b><br/>など</li></ul> |

- 国から配分される**地域未来基金費**（本県約60億円）を活用し、**戦略的に事業を展開**
- **成長戦略ファンド**による**支援も拡充**（研究開発等）

# 分野横断的対応方針案の概要

目指す姿

政策手段(案)

## スタートアップ創出・誘致と育成

- 国内外のスタートアップと、県内の企業・大学等との連携・共創を通じた**持続的なイノベーションの創出**
- 革新的な技術・発想を、県内企業のものづくり技術を活かし事業化を実現する**イノベーション・ファブの形成** など

## AX促進、人材確保・育成

- 重点分野の発展を担う**人材の確保・育成**と、多様な働き方の実現を通じた**定着促進**
- 限られた人的資源の最大活用により**人手不足の克服**を図る、**AXの実践**を通じた**生産性革命の実現** など

## 産業集積に向けた基盤づくり

- 新たな投資と高度人材を呼び込む、**産業集積拠点の形成**
- 用地に限らず、再エネや通信、物流等の周辺インフラ整備も含めた**総合的な企業立地環境の向上** など

- 石川での起業や県内企業との共創に向けた**首都圏の大学等との起業支援連携の推進**
- 地方の強みを活かし、都会からの移住・Uターンを促進する**職住近接型の起業環境の整備と移住起業の促進**
- ソーシャルインパクト技術※の社会実装に向けた**公共調達や県内企業との共創の仕組みづくり**  
※社会や環境に長期的でポジティブな効果がある技術 など

- **AX実践人材の育成**に向けた、大学や企業における**学生教育とリカレント教育の推進**
- 県内企業との早期リレーション構築を目指し、学生が産学連携の取組に参画する「**共創ゼミ**」の支援
- 業種間の繁閑差を活かした**マルチワーク（複業）の推進**  
(特定地域づくり事業協同組合制度の活用等) など

- 重点分野に関する県内の企業・大学等と**県外企業との共創の促進と、その拠点の形成**
- 重点分野に関する、ターゲットを絞った**県外からの研究開発機能や生産拠点の誘致**
- 道路や港湾など**物流インフラや通信環境の機能強化と、脱炭素産業集積拠点の創出** など

➤ 国から配分される**地域未来基金費**（本県約60億円）を活用し、戦略的に事業を展開

# 石川県地域産業クラスター計画案

※国の提出様式に記載したもの

# 石川県 AI・半導体分野における地域産業クラスター計画の概要

## 1. 産業領域

フィジカルAIを核としたAI関連産業

## 2. 対象エリア

県内全域

[特定理由]

工作機械などの生産用機械器具メーカーや研究機関が集積し、フィジカルAIの実装による高付加価値化・産業拡大が見込まれる



## 3. 目指す姿（目標）

### (1) 現状の整理

- ・ 人口減少に伴う人手不足を背景に、自動化への需要が高まっている
- ・ 本県は、生産用機械器具など製造業に強みを持ち、フィジカルAIを実装する産業基盤を有する

### (2) 目指すべき目標（KGI）

- ・ 民間設備投資額 約2,700億円(精査中)
- ・ 付加価値増加額 約9,100億円(精査中)
- ・ 産業人材育成数 約1.4万人(精査中)

※上記数値は県が策定するクラスター計画4分野の合計値

## 4. 勝ち筋

### (1) 基本戦略

全国に先駆けて、供給・需要の両面からフィジカルAIの現場実装を促すとともにAIロボティクス関連産業への参入を進め、AI関連産業の集積及び本県製造業の拡大・競争力強化を図る

### (2) 目指すべき姿

- ・ 製品高度化により、装置メーカーの取引単価・利益率を向上
- ・ 現場への定着により、人手不足下でも付加価値額を高める生産体制を実現

## 5. 政策手段

### (1) 取組に向けた課題

- ・ 現場データの整備・活用の推進
- ・ 実践的な人材育成・教育環境の確保
- ・ 実証に留まらない現場実装の定着など

### (2) 講じるべき政策パッケージ

- ・ データ活用支援
- ・ 人材育成・産学連携支援
- ・ スタートアップ連携支援
- ・ 現場実装支援
- ・ 新分野進出支援など

# 石川県 AI・半導体分野における地域産業クラスター計画の概要

## 1. 産業領域

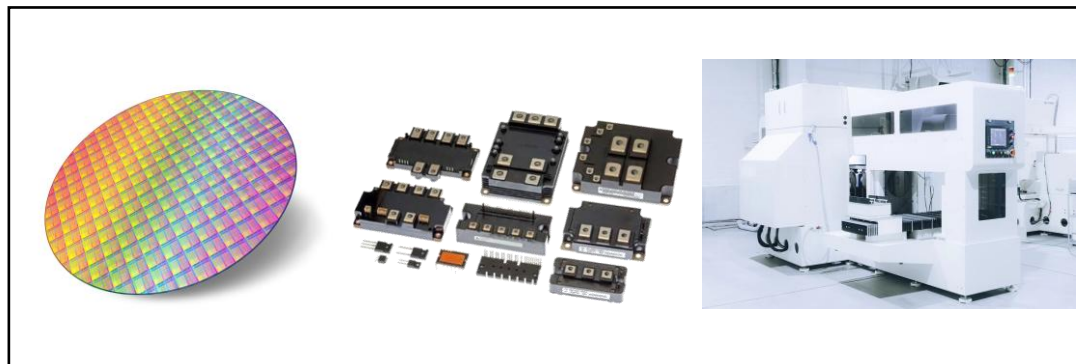
パワー半導体を中核とした半導体関連分野

## 2. 対象エリア

県内全域

[特定理由]

加賀、能登地区は半導体生産拠点が存在、金沢地区は半導体装置製造業や部材製造業、その他精密加工業が集積



## 3. 目指す姿（目標）

### (1) 現状の整理

- ・ 半導体は、省エネ化・電動化等を背景に需要が高まっている。
- ・ 本県はパワー半導体等の半導体製造企業、装置製造企業、部素材製造企業が集積している。

### (2) 目指すべき目標（KGI）

- ・ 民間設備投資額 約2,700億円(精査中)
  - ・ 付加価値増加額 約9,100億円(精査中)
  - ・ 産業人材育成数 約1.4万人(精査中)
- ※上記数値は県が策定するクラスター計画4分野の合計値

## 4. 勝ち筋

### (1) 基本戦略

- ・ 装置・部素材を含む半導体関連サプライチェーンの強化・最適化
- ・ 半導体研究開発の強化や次世代人材の育成

### (2) 目指すべき姿

- ・ パワー半導体産業の集積を強みに、半導体に関連する全ての部素材・製造装置・製造工程を含むサプライチェーンの強化を図り、省エネルギー化・電動化・AI化を支える半導体クラスターの形成

## 5. 政策手段

### (1) 取組に向けた課題

- ・ 装置・部素材開発の不足
- ・ 変更認証等に起因する、高い新規参入の障壁
- ・ 産学官の研究開発体制の不足
- ・ 半導体関連人材の不足
- ・ 工場用地、道路インフラ等の不足

### (2) 講じるべき政策パッケージ

- ・ 装置・部素材開発支援、生産体制強化・設備投資への支援
- ・ 周辺装置・部素材への参入支援
- ・ 産学官連携拠点への支援
- ・ 大型共同研究やマッチング支援
- ・ コンソ等による人材育成支援
- ・ 物流インフラ整備、県土の強靱化

# 石川県 防災・国土強靱化分野における地域産業クラスター計画の概要

## 1. 産業領域

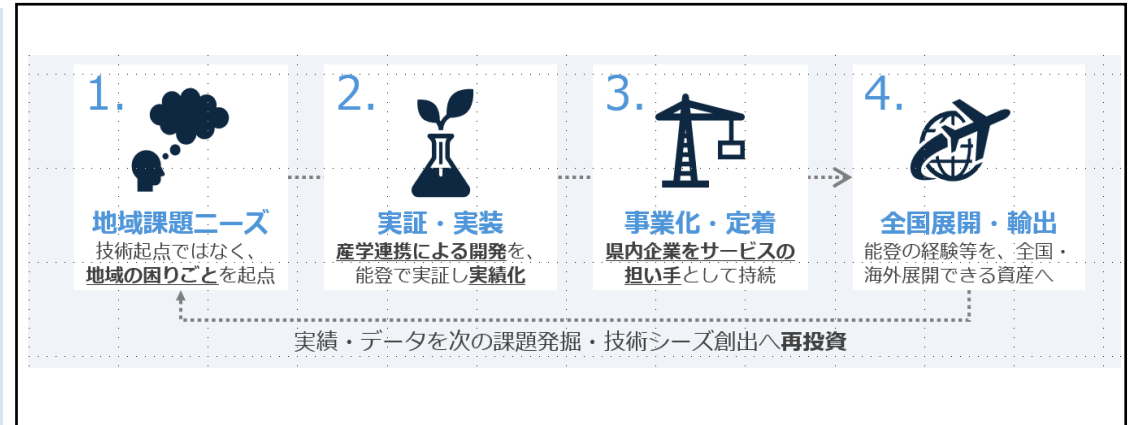
新素材技術・次世代インフラ・防災DXを核とする防災・国土強靱化産業領域

【該当する業種】製造業、建設業、情報通信業、技術サービス業等への波及効果を有する裾野の広い産業領域

【特定の理由】能登の実証フィールドに加え、産学連携基盤、モノづくり・IT企業の集積を活かした、防災・国土強靱化に資する新技術・新サービスの継続的な創出が見込まれるため

## 2. 対象エリア

県内全域（特に内灘以北の能登地域）



## 3. 目指す姿（目標）

### （１）現状の整理

- ・国土強靱化計画による大型投資などにより、今後も市場拡大が期待されている
- ・また、人口減少とインフラ老朽化の同時進行により、省人化・遠隔化・自動化を実現する新技術・サービスへの需要が高まっている
- ・本県は、産学連携基盤を有し、繊維、機械、建設、ITなどの関連産業も集積している

### （２）目指すべき目標

- ・民間設備投資額 約2,700億円(精査中)
  - ・付加価値増加額 約9,100億円(精査中)
  - ・産業人材育成数 約1.4万人(精査中)
- ※上記数値は県が策定するクラスター計画4分野の合計値

## 4. 勝ち筋

### （１）基本戦略

- ① 新素材（炭素繊維等）技術の量産・標準化による耐震部材のサプライヤー化
- ② 能登の実装実績を基にした次世代インフラ施工・維持管理サービスの確立
- ③ 能登の地域課題×DXによる課題解決型サービスの創出

### （２）目指すべき姿

地域課題を起点に新素材・次世代インフラ・防災DX等の技術・サービスを継続的に創出することで、技術・人材・データ・収益・投資が循環する防災・国土強靱化産業クラスターを確立

## 5. 政策手段

### （１）取り組みに向けた課題

- ・地域課題と研究開発の接続
- ・新技術の実証機会の創出と事業化・定着
- ・専門人材の確保・育成、販路開拓

### （２）講じるべき政策パッケージ

- ・地域課題の収集・発信、産学官マッチング基盤の構築
- ・建設新技術認定制度の活用促進、公共事業での新技術・DX活用フィールドの提供
- ・実証案件への県内企業の参画促進、事業化伴走・人材育成支援
- ・販路開拓・ネットワーク形成支援
- ・ICT施工の展開、遠隔施工による省人化支援
- ・オープンデータの拡充 など

# 石川県 部素材分野における地域産業クラスター計画の概要

## 1. 産業領域

### 炭素繊維複合材料・テキスタイル等の部素材産業

[特定理由]糸加工、編物・織物、染色加工といった繊維加工技術や炭素繊維などの複合材料加工技術が蓄積しており、今後、高機能・高付加価値の部素材関連産業の集積拡大が見込まれる

## 2. 対象エリア

金沢市、七尾市、小松市、羽咋市、かほく市、能美市、白山市、中能登町等

部素材分野  
脱炭素・資源循環  
ニーズ

航空宇宙分野  
軽量化・高強度化  
ニーズ

・繊維産業の一大集積地  
など

・裾野が広い産業集積  
・炭素繊維複合材料の  
研究開発基盤

・航空機産業クラスター  
など

・炭素繊維・環境配慮型  
素材など高機能・高付加  
価値な素材開発 など

・SC構築 ※次世代空モビ  
・生産技術の高度化、  
生産体制の強化、  
・研究開発 など

### 出口となる市場

環境規制の厳しい欧州等への  
輸出、土木・建築資材、医療・  
ヘルスケア など

### 出口となる市場

次世代空モビリティ（eVTOL・ドローン）、航空機（部品・MRO）、  
宇宙（研究開発・試作）

## 3. 目指す姿（目標）

### （1）現状の整理

- ・脱炭素化や軽量化・高機能化への対応を背景に、炭素繊維複合材料や環境配慮型素材等の需要が高まっている
- ・本県は、テキスタイル技術や炭素繊維複合材料技術などの研究開発基盤を有する

### （2）目指すべき目標

- ・民間設備投資額 約2,700億円<sup>(精査中)</sup>
  - ・付加価値増加額 約9,100億円<sup>(精査中)</sup>
  - ・産業人材育成数 約1.4万人<sup>(精査中)</sup>
- ※上記数値は県が策定するクラスター計画4分野の合計値

## 4. 勝ち筋

### （1）基本戦略

- ① 複合材料・環境配慮型素材（リサイクル技術等）に関する研究開発の促進（技術の高度化）
- ② スタートアップ等が有する革新的な技術との連携による新技術・新製品開発等

### （2）目指すべき姿

- ・部素材の高機能化により、価格ではなく技術で選ばれる企業への転換を促し、取引単価・利益率を向上
- ・スタートアップ等との連携により、企業単独では実現が難しい用途開発に取り組み、新市場を開拓
- ・付加価値の向上、技術の高度化等を実現

## 5. 政策手段

### （1）取り組みに向けた課題

- ・他産業と接する機会が限定的
- ・新たな市場への用途展開
- ・量産化・商用化
- ・用途開発を担う人材の不足 など

### （2）講じるべき政策パッケージ

- ・他産業調査  
勉強会の開催、展開可能性調査等
- ・市場参入支援  
FS調査・研究開発、展示会出展 等
- ・事業化支援  
設備投資支援、環境規制対応 等
- ・人材支援  
研修、コーディネーター育成・設置 等

# 石川県 航空宇宙分野における地域産業クラスター計画の概要

## 1. 産業領域

次世代空モビリティなどの航空宇宙産業

[特定理由]航空機関連技術や炭素繊維複合材料加工技術が蓄積し、研究開発基盤を有するなど、航空宇宙産業の集積拡大が見込まれる

## 2. 対象エリア

金沢市、小松市、白山市、加賀市等

部素材分野  
脱炭素・資源循環  
ニーズ

・繊維産業の一大集積地  
など

・裾野が広い産業集積  
・炭素繊維複合材料の  
研究開発基盤

航空宇宙分野  
軽量化・高強度化  
ニーズ

・航空機産業クラスター  
など

・炭素繊維・環境配慮型  
素材など高機能・高付加  
価値な素材開発 など

出口となる市場

環境規制の厳しい欧州等への  
輸出、土木・建築資材、医療・  
ヘルスケア など

・SC構築 ※次世代空モビ  
・生産技術の高度化、  
生産体制の強化、  
・研究開発 など

出口となる市場

次世代空モビリティ（eVTOL・ドロー  
ン）、航空機（部品・MRO）、  
宇宙（研究開発・試作）

## 3. 目指す姿（目標）

### （１）現状の整理

- ・ 本県は、航空機産業で培われた高い加工技術が集積するとともに、炭素繊維複合材料の研究開発基盤を有している
- ・ 特に、次世代空モビリティ分野においては、軽量化・高強度化、高信頼性を実現する部品の重要性が高まっている

### （２）目指すべき目標

- ・ 民間設備投資額 約2,700億円(精査中)
  - ・ 付加価値増加額 約9,100億円(精査中)
  - ・ 産業人材育成数 約1.4万人(精査中)
- ※上記数値は県が策定するクラスター計画4分野の合計値

## 4. 勝ち筋

### （１）基本戦略

【次世代空モビリティ】

開発・試作・試験・製造・運用保守までの全工程の一貫供給体制を県内に構築。高付加価値分野への参入、先進的な技術・素材を先行的に試験・実証できる環境を整備

【航空機】技術の高度化、生産体制の強化

【宇宙】研究開発等の支援

### （２）目指すべき姿

- ・ 域内での一貫生産体制と優れた実証フィールドを有する国内有数の次世代空モビリティ拠点の形成
- ・ サプライチェーンの集積、技術の高度化、生産体制の強化、産業の裾野拡大、新産業の創出雇用創出等を実現

## 5. 政策手段

### （１）取り組みに向けた課題

- ・ 市場との接点不足
- ・ 開発から事業化までの導線不足
- ・ 人材不足 など

### （２）講じるべき政策パッケージ

- ・ **企業連携・企業誘致**  
共同開発支援、機体メーカー誘致 等
- ・ **市場参入支援**  
展示会等への出展、技術情報発信 等
- ・ **事業化支援**  
研究開発支援、実証フィールドの整備 等
- ・ **人材支援**  
大学等と連携した人材確保 等
- ・ **物流インフラ整備、県土の強靱化**

# 石川県 食文化・観光分野における地域産業クラスター計画の概要

## 1. 産業領域

食文化・工芸・自然などの地域資源を核とする食文化・観光産業

【該当する業種】

観光関連産業、農林水産業、食品関連産業、伝統工芸関連産業等への波及効果を有する裾野の広い産業領域

【特定の理由】

食文化・工芸・自然等の資源集積を活かした地域産業の持続的成長を図るため

## 2. 対象エリア

県内全域（金沢・能登・加賀・白山4地域）



## 3. 目指す姿（目標）

### (1)現状の整理

- ・市場が拡大する中、食文化・工芸・自然等の地域資源を活かす好機にある
- ・金沢に加え能登・加賀・白山が独自の魅力を有し、成長余地がある
- ・高付加価値市場に適合する本物の魅力を有し、付加価値増の伸びしろがある

### (2)目指すべき目標(目標)

- ・民間設備投資額 約2,700億円(精査中)
- ・付加価値増加額 約9,100億円(精査中)
- ・産業人材育成数 約1.4万人(精査中)

※上記数値は県が策定するクラスター計画4分野の合計値

## 4. 勝ち筋

### (1)基本戦略

- ① 食文化を活かした石川ならではの体験価値創出（高付加価値化）
- ② エリアブランドの深化による選ばれる地域づくり
- ③ 食・工芸・もてなし等を支える技の継承と人づくり
- ④ 持続的成長に資するDX推進と新事業創出、市場・販路開拓

### (2)目指すべき姿

石川ならではの食文化を核とした高付加価値な体験が各地域の個性とともに国内外から選ばれ、人材・収益・投資が地域内で循環し、持続可能で競争力の高い食文化・観光産業クラスターを確立

## 5. 政策手段

### (1)取り組みに向けた課題

- ・地域資源の磨き上げ、収益化
- ・地域ブランドの確立とターゲット戦略
- ・技の継承と人材確保、生産性向上

### (2)講じるべき政策パッケージ

- ① 食文化の魅力の更なる向上
- ① 食・工芸・宿泊等の連携によるコンテンツ造成
- ① 滞在拠点の高付加価値化
- ① 食材のブランド化と地産地消の推進
- ② 地域の個性・強みの再整理と重点化
- ② 魅力ある受け地づくりの推進
- ② ターゲットの明確化とプロモーションの展開
- ③ 料理人・職人・生産者の育成・継承
- ③ 観光人材(もてなし手・伝え手等)の育成・継承
- ③ 多様な人材の参画促進
- ④ DX・省力化による生産性向上
- ④ 異業種連携・新技術活用による新事業創出
- ④ インバウンド誘客、国内外の市場開拓 など